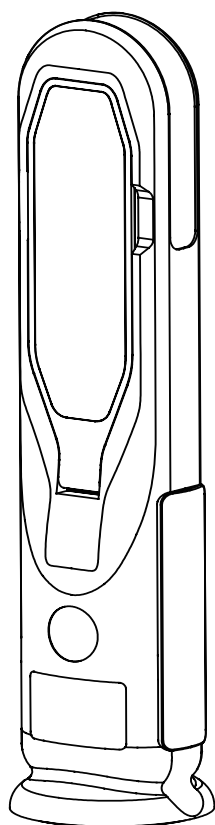




YARD FORCE®

FOR LIFE ON THE GO

ジャンプスターター機能付き LEDライト 取扱説明書



型番：LX JS08-JP

この度は「ジャンプスターター機能付き LED ライト」をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。



ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分にご理解の上、安全に正しくお使いくださるようお願い致します。

お読み終わった後もこの取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

なお、不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

JS12V0212828001

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「使用者が死亡事故または重傷を負う可能性が想定される」内容
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される」内容

安全上のご注意

警 告

1. 専用の充電器以外は使用しないでください。
2. 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
3. 本体に釘をさしたり、衝撃を与えたりしないでください。
4. 本体を分解したり、内蔵バッテリーを分解したりしないでください。
5. 家電製品で一般的に使用されている乾電池の充電には使用しないでください。充電により破損する恐れがあり大変危険です。
6. 内蔵バッテリーを取り外したり、修理・交換しないでください。
7. 端子に金属などを接触させないでください。(特に金属と一緒に保管しないでください) ショートする恐れがあります。
8. 火のそばや炎天下などの高温になる恐れのある場所で充電・使用・保管しないでください。温度が臨境界を超えるとリチウム電池が過熱し、爆発する恐れがあり大変危険です。
7. 極端に高温 (50℃以上)・低温 (-4℃以下)・高湿度 (75%以上) の場所で保管、充電すると内蔵バッテリーが液漏れする恐れがあります。高温多湿のところでは充電・保管しないでください。
8. 万が一、液漏れが起きた場合は漏れた液はやけどや炎症の原因となりますので絶対に触らないでください。目に入ったら、すみやかに水で洗い流し、眼科医を受診してください。
9. 本体は防水構造になっていません。水につけたり、特に海水に浸かることがないようにしてください。塩水にさらされると、内部腐食、セルの損傷、または内蔵バッテリー管理システム (BMS) が発生する恐れがあります。
 - ・ BMS は、過充電、深放電、または不均衡なセル充電からバッテリーを保護しますが、その後の充電中に火災のリスクをもたらす可能性があります。
10. 落下または輸送によって本機に衝撃が加わり、カバーに損傷などがある場合は内蔵バッテリーに損傷の恐れがあるため本機の使用または充電をしないでください。
11. LED ライトを絶対に覗き込まないでください。目がくらむ恐れがあり、目の網膜に損傷を与える恐れがあります。

12. 光線を人や動物に直接向けたり、遠くからでも光線を見つめたりしないでください。
13. 正しく充電してください。
 - ・入力電圧、出力電圧は規定の電圧・電流を守って充電してください。
 - ・充電中は本体や充電機器などを布などで覆わないでください。
 - ・充電器を使用しない時、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
14. 充電中、極端に発熱したり、膨張、発煙などの異常に気づいた場合は直ちに使用を中止してください。
15. 火災発生の恐れがある場所では充電しないでください。
 - ・ホコリのある所、燃えやすい布製品の上、ビニールなどは発火の原因となります。
16. 揮発性または可燃性の高い環境および可燃性液体の近くでバッテリーを充電しないでください。火事や爆発の原因となり大変危険です。
17. 稼働可能時間が極端に短くなった本体は充電・使用をしないでください。
18. 使用済みのリチウムイオンバッテリー内蔵機器は一般ゴミとして捨てないでください。

注 意

1. 内蔵バッテリーは完全に放電した場合、著しく充電機能が劣化し短時間で再充電されなくなることがあります。残量が一番下のゲージになった場合は24時間以内に再充電する必要があります。
2. 保護ガラスにひびが入ったり壊れたりした場合は交換する必要があります。
3. 雨、悪天候、または湿気の多い環境では懐中電灯を使用しないでください。
4. この懐中電灯は、車両での使用を目的として設計されておらず、道路交通法上での照明としては承認されていません。
5. ハンドルは乾いた状態に保ち、油やグリースが付着しないように清潔に保ちてください。
6. 長い時間使用しない時は完全に放電した状態のままに保管しないようにしてください。内蔵バッテリーのアクュムレーター（畜圧機構）が損傷して、再充電出来なくなる恐れがございます。使用しないときでも、3か月ごとに再充電するようにしてください。

【法令を遵守してご使用ください】

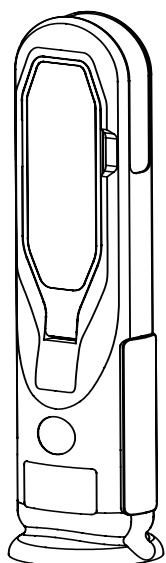
- 本体のご使用に際し、本製品に不備がない事由により使用者が第三者に損害を与えた場合は、その責任を負う義務があります。
- 当製品はリチウムイオンバッテリー内蔵製品です。リチウムイオンバッテリーを処分する際はお住まいの自治体の廃棄規程に従い、正しく処分してください。廃棄方法を誤ると発火や発熱の恐れがあり大変危険です。

基本仕様

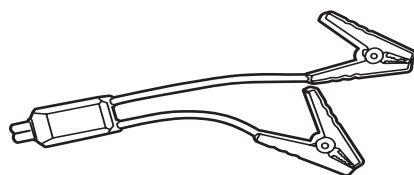
ジャンプスターター機能付き LED ライト		LX JS08-JP
バッテリー容量	2X4000mAh、11.1VDC リチウム 41.07Wh	
出力 (USB1,USB2)	5 V /最大 2.1 A (USB Type-A)	
出力 (ジャンプスタート接続)	500 A	
入力 (DC12V)	12 V /2 A (USB Type-A)	
ヒューズ (型式)	F2AL250V	
対応エンジン	12V 車、排気 3500ccまでの車両	
明るさ	最大 482 ルーメン	
重さ (約)	本体 :480g	
サイズ (約)	全長 31× 径 8cm	
材質	ABS 樹脂、ポリカーボネイト、他	

※商品改良のため、仕様・外観・セット内容は予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。

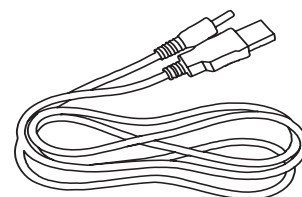
セット内容



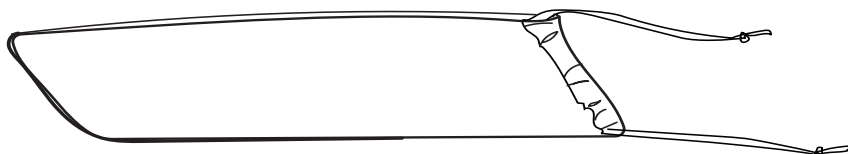
本体



ジャンプスタートケーブル

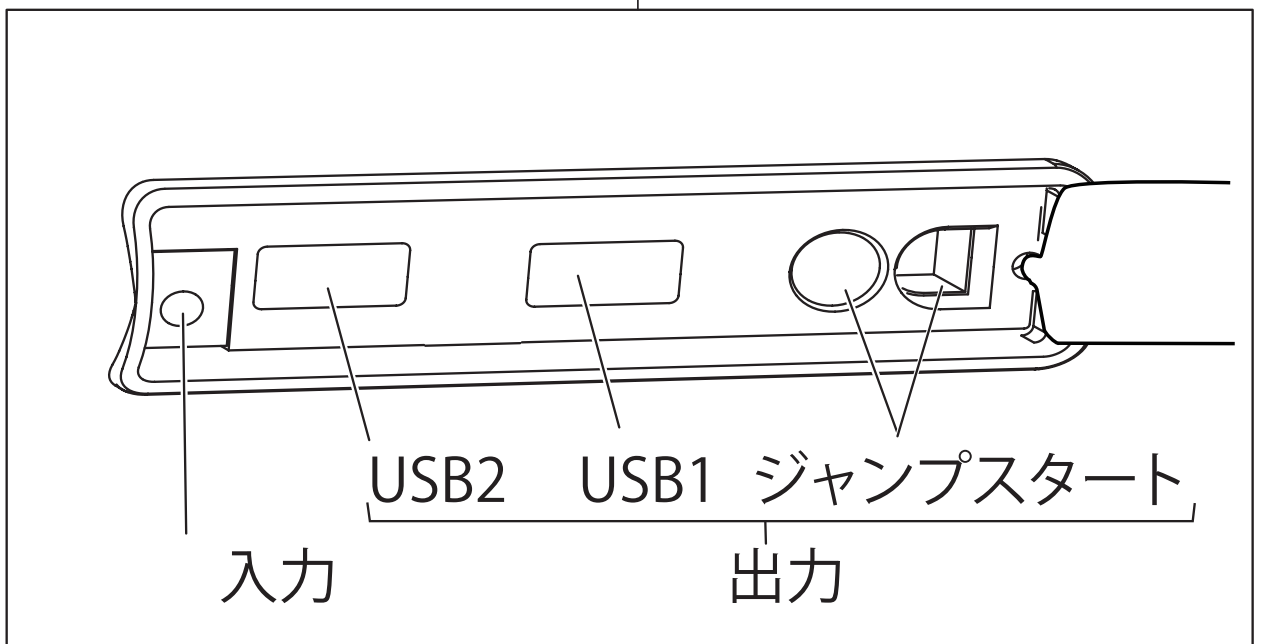
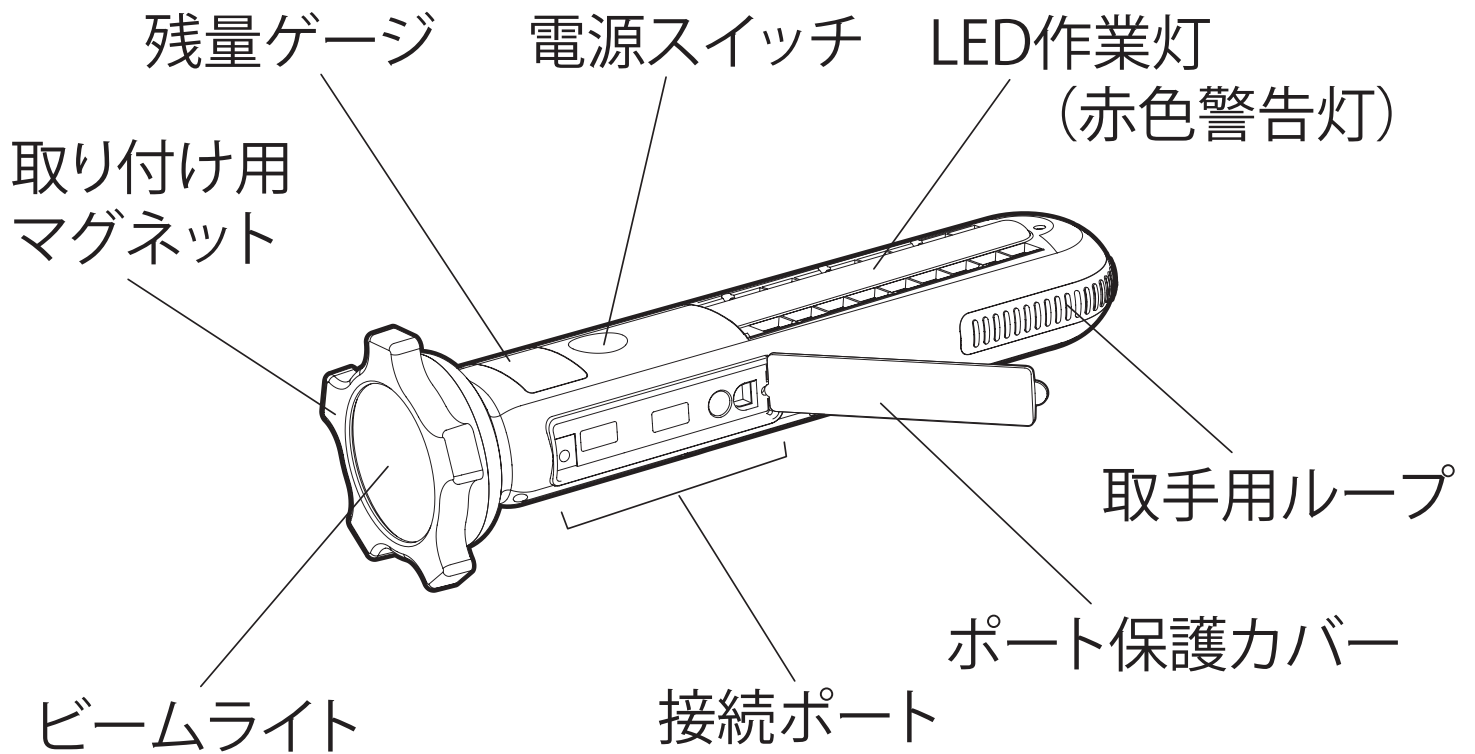


DC12V/USBケーブル



収納ケース

各部名称



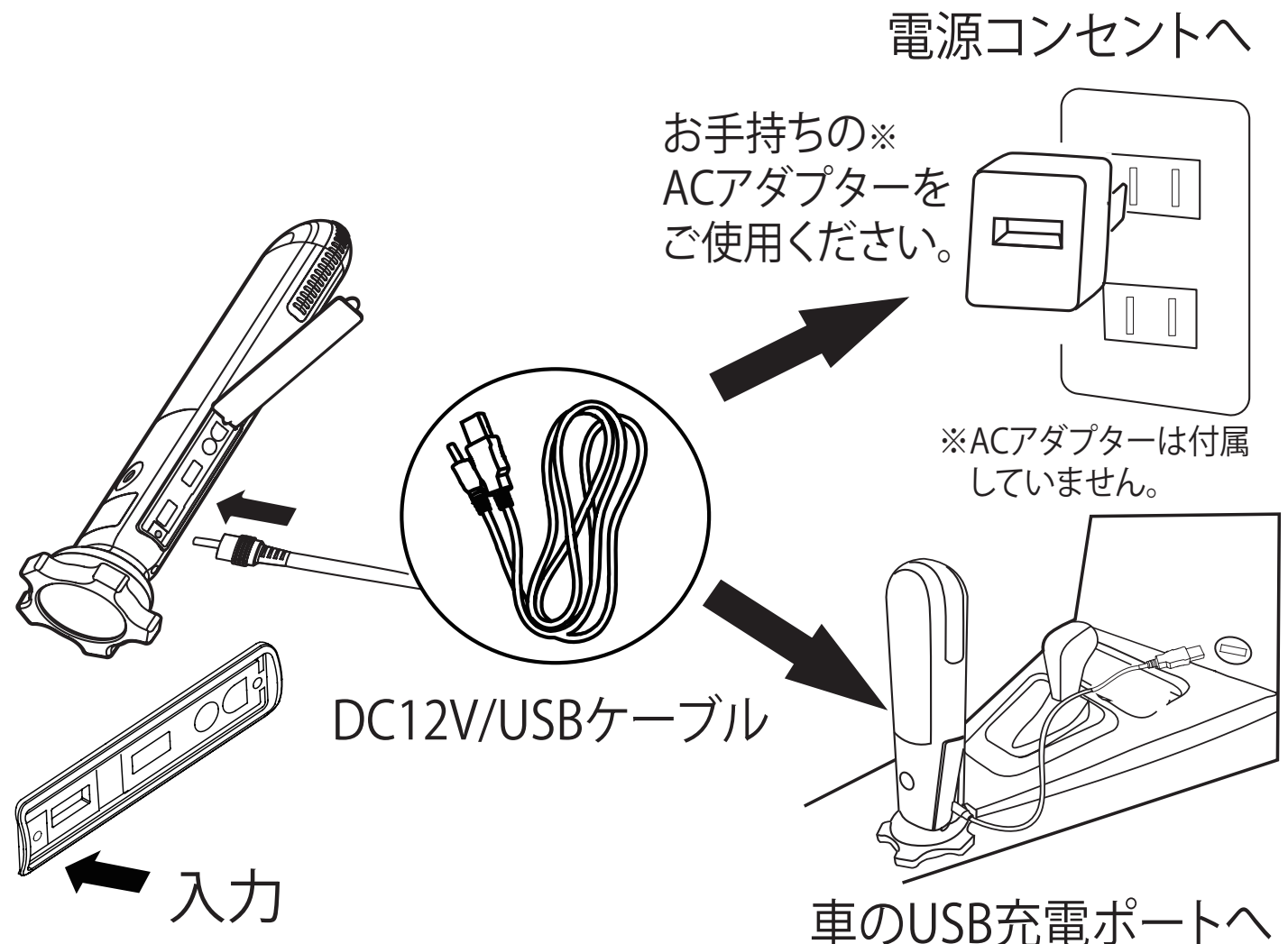
充電方法

内蔵バッテリーは工場出荷後、放電により十分に充電されていない場合があります。初めて使用する前に、バッテリーを完全に充電してください。

1. ポート保護カバーを外して接続ポートを開きます。
 2. DC12V/USB ケーブルの DC12V 端子を接続ポートの入力端子に差し込みます。
 3. ケーブルの USB 端子を主電源コンセントまたは車の充電コネクタに繋ぎます。
 4. 充電の状態と進行状況に応じて、青色の残量ゲージライトが徐々に点灯します。残量ゲージが4つすべて点灯している場合、バッテリーは完全に充電されています。
- ※バッテリー残量にかかわらずいつでも充電を中断・再開することができ、途中からでも再充電することができます。

※初めて充電するときは、少なくとも4時間以上は充電する必要があります。

※充電時間は、放電レベルとバッテリー残量により異なります。残量の少ない放電されたバッテリーの充電は、所定時間以上かかる場合がございます。



注 意

バッテリー寿命を保つために

残量がなくなったバッテリーはできるだけ早く充電する必要があります。完全に放電すると、アキュムレーター（蓄圧機構）が損傷して、再充電が出来なくなる場合がございます。完全放電した状態で長期間おかないようご注意ください。

未使用のバッテリーは、使用中のバッテリーよりも早く容量を失います。

バッテリー寿命をより良く保つためには、定期的に電力を消費し、容量を消耗するたびにバッテリーを充電するのが理想的です。

連続使用後の製品はバッテリーが高温になっています。充電する前に少し時間をおき、十分冷ましてから充電をし始めることによりバッテリーにかかる負荷が減ります。

内蔵バッテリーは0°C～50°Cの間で給電できるように設計されています。冷たすぎたり熱すぎたりすると、うまくバッテリー充電が作動できません。本体が冷えすぎてなかなか充電できない場合は、温かい室温の場所にしばらくおいてください。

充電中に内蔵バッテリーやケーブルが熱くなる可能性があります。これは正常であり、障害を示すものではありません。

ただし、異常に熱くなった場合には電力供給を一旦停止し、冷却時間を設けるようにしてください。また、充電が終了し満充電の状態のまま長時間充電したままにしないようにしてください。

マシンの動作時間が大幅に短縮され、バッテリーの充電時間が短縮された場合は、バッテリーの容量が減少しているため、交換する必要があることを示しています。

電源スイッチ・残量ゲージ

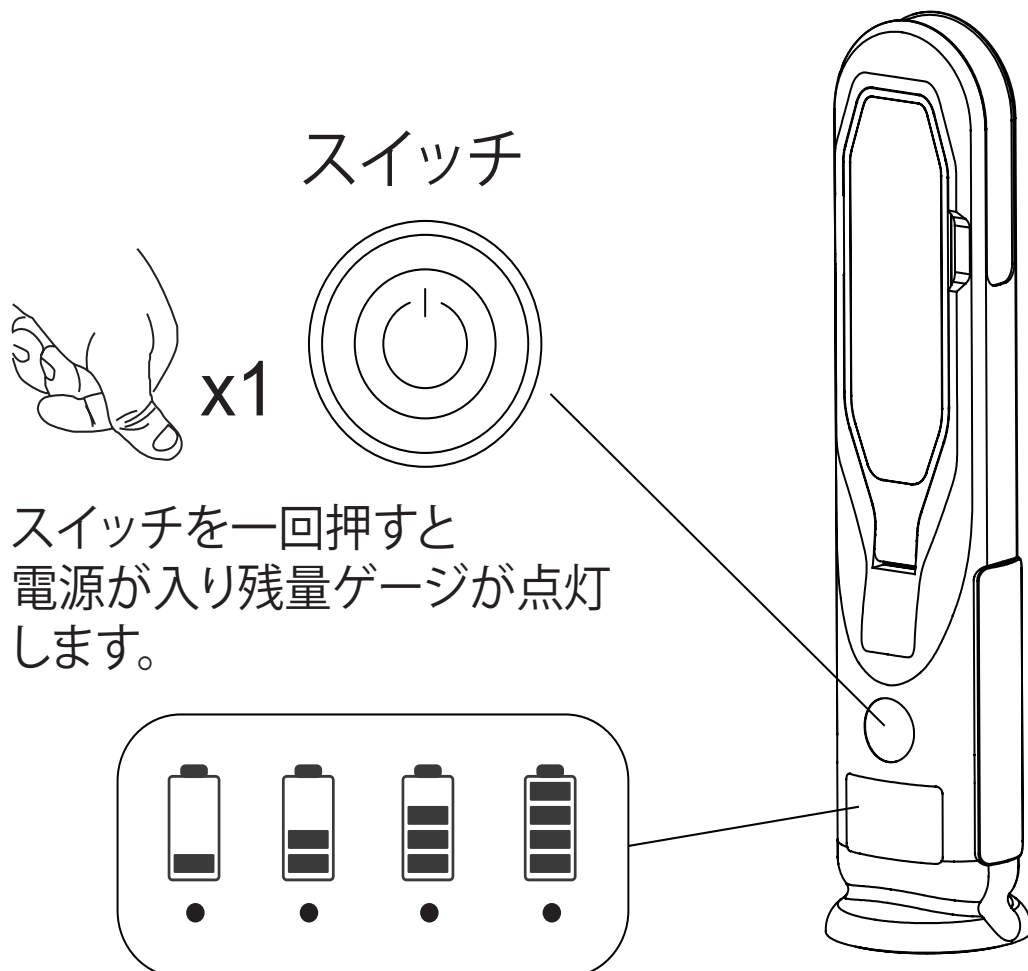
電源スイッチを1回押すと電源がオンになり、残量ゲージの青いLEDライトが点灯し、充電コネクタへの供給が有効になります。2回目を押すとLED作業灯が点灯し、2～6回スイッチを押す回数により作業灯モードが変わります。(P10をご参照ください。)

電源がオンの間は残量ゲージライトはずっと表示されます。どのモードでも電源スイッチを4秒以上長押しすることで電源は完全にオフになります。

【バッテリー残量ゲージの見方】

- ・1つのLED = フラット = 使用せず、すぐに再充電してください。
- ・2つのLED = 25～50%の容量 = できるだけ早く再充電。
- ・3つのLED = 50～75%の容量 = ジャンプスターターとして使用する場合は再充電をしてください。
- ・4つのLED = 75～100%の容量 = 完全またはほぼ完全に充電済みです。

ジャンプスターターとして使用する場合は、バッテリーを完全に充電することをお勧めします。再始動の可能性が大幅に高まります。



使用方法

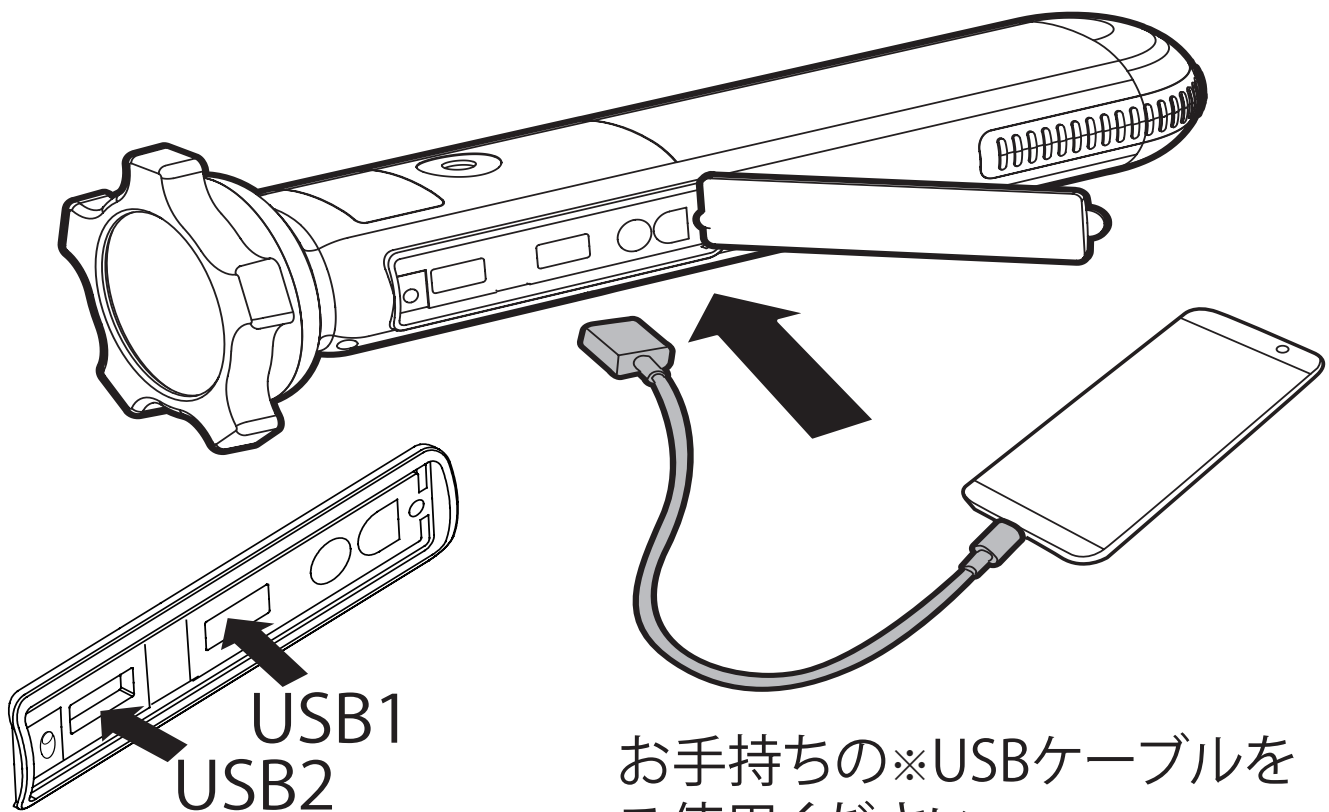
⚠ 注意

- ・ 使用後は電源がオフになっていることを必ず確認してください。
- ・ ライトがオンになる前にライトが顔に向けられていないか必ずご確認ください。
不意なライトの点灯で目がくらむ恐れがあります。
- ・ 電源として使用中は充電したまま放置しないようにしてください。

USB 電源として使用する：

さまざまな USB 充電機器への電源供給・再充電ができます。

1. お手持ちの USB 充電ケーブルを充電したいデバイスに接続します。
2. 充電ケーブルの USB コネクタを本体の USB ポートに接続します。
3. 電源ボタンを押して USB 充電を有効にします。



お手持ちの※USBケーブルを
ご使用ください。

※USBケーブルは付属していません。

作業灯として使用する：

この製品には、いくつかの異なる作業灯モードがあります。

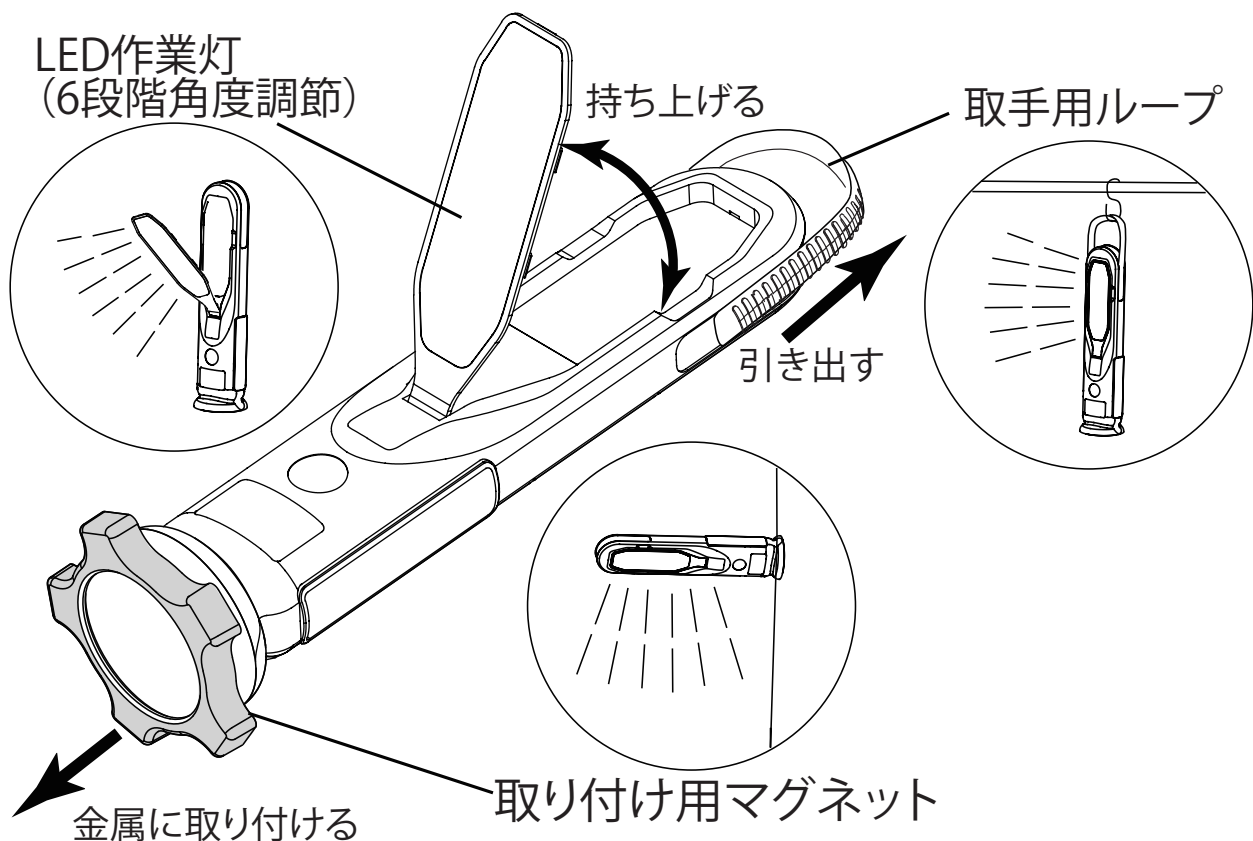
1. 電源スイッチを1回押すと電源がオンになり、USBポートの供給開始、および残量ゲージパネルのライトが点灯します。
2. 2回押すと、LED作業灯が点灯します。
3. 3回押すと、赤色の警告灯が点灯します。
4. 4回押すと、赤色警告灯が点滅します。
5. 5回押すと前面が点灯し、ビームライトが点灯します。
6. 6回押すとビームライトが点滅に変わります。
7. 7回押すと、全体がオフになります。
8. 上記のモードのいずれでも、スイッチを4秒間押し続けると、電源をオフにすることができます。

便利な機能

LED作業灯は両サイドのタブを押えて上に持ち上げると6段階角度調節ができます。

ビームライトのついている底側は取り付け用マグネットが内蔵されています。金属製の壁や車のボンネットに取り付けることで作業灯を下に向けて固定することができます。

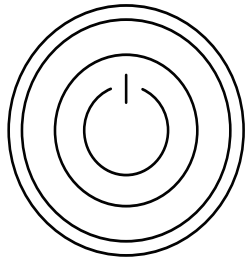
また、取手用ループを上側に引き出すことで、ランタンとしても使用することができます。



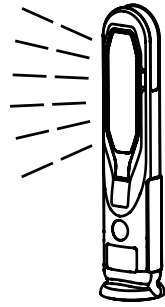
スイッチ



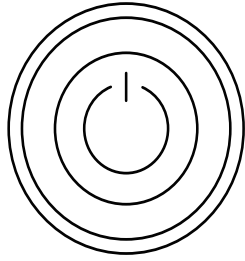
x2



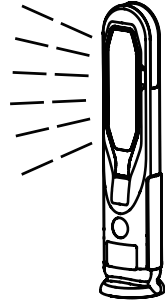
LED作業灯
点灯



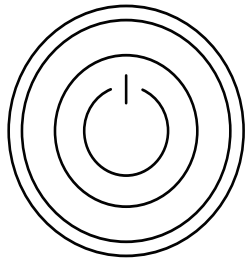
x3



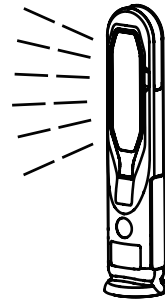
赤色警告灯
点灯



x4

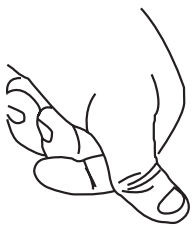


赤色警告灯
点滅

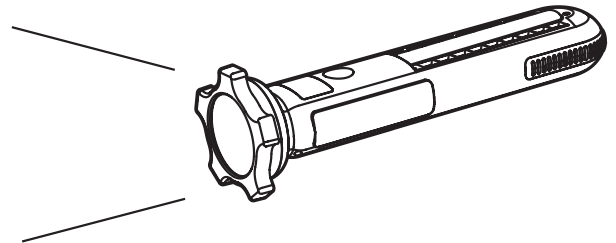
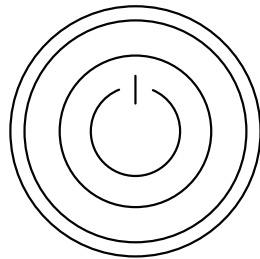


スイッチ

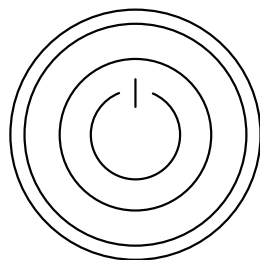
ビームライト点灯



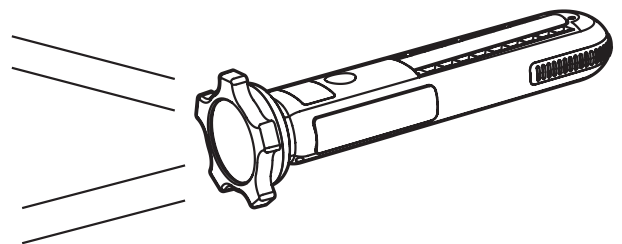
x5



x6



ビームライト点滅



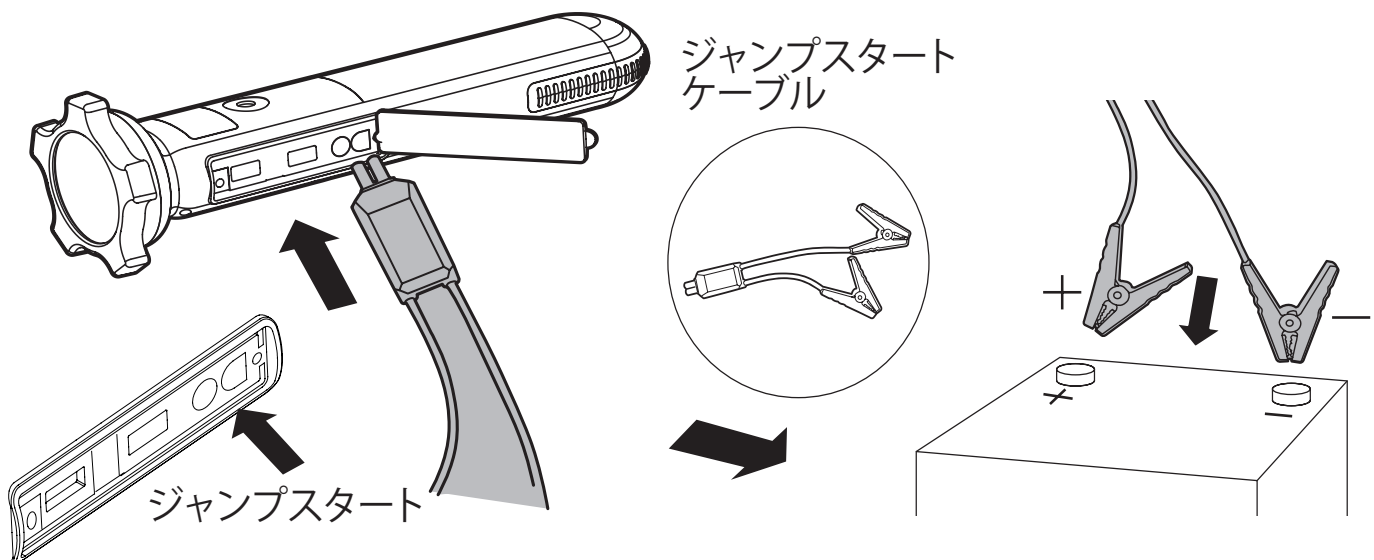
ジャンプスターターとして使用する：

カーバッテリー上がりを起こした車両エンジンの再始動を助けるジャンプスターターとして使用することができます。ジャンプスターターとして使用する際はこの取扱説明書および車両メーカーが提供する操作マニュアル / 安全マニュアルをよくお読みのうえ正しくご使用ください。

警告

- ・この機能には、必ず付属のケーブルを使用してください。他のケーブルや代替品は絶対に使用しないでください。
- ・ケーブルが確実に接続されているのを確認してからスイッチを入れるようにしてください。
- ・10°C 未満の温度の場所で凍結した車両から充電したり、ジャンプスターターで始動させたりしないでください。
- ・カーバッテリーを扱うときは、常に保護メガネなどの目の保護具を使用してください。
- ・ジャンプスターターは湿気のない風通りのよい乾燥した場所でのみご使用ください。
- ・接続ケーブルがエンジンの可動部品（ベルト、ファン、オルタネーターなど）の範囲内がないことを確認してください。本体とケーブルの両方を不燃性の表面に配置する必要があります。
- ・車両のエンジン始動を試行中は、カーバッテリーの近くに人を近づけないようにしてください。

1. ジャンプスタートケーブルコネクタを本体に接続します。コネクタは、本体側面のポート接続カバーの下にあります。カバーを挟みこまないようしっかり外側に引っ張り出し、コネクタにしっかり奥まで差し込みます。
2. 接続後、ジャンプスタートケーブルは微かにビープ音が鳴ります。
ジャンプスタートケーブルの緑と赤のLEDが点滅しはじめ、本体がスタンバイモードになっていることを示します。
5. ジャンプスターターを車両に接続する前に、カーバッテリーのイグニッションを完全にオフにします。
6. 別の金属部に干渉してショートしないように気をつけながら、プラス(赤+)コレットをカーバッテリーのプラスクランプ（または車両メーカーが推奨するプラス接続ポイント）に接続します。
7. マイナス（黒-）コレットを、車両メーカーの推奨操作方法に従いカーバッテリーのマイナスクランプ、車両フレーム（アース）、またはその他のマイナス接続ポイントに接続します。



8. コレットを接続すると、ジャンプスタートケーブルはステータスチェックをし LED ライトで状態を表示します。

【ジャンプスタートケーブルの LED ライトが緑 / 赤の点滅の場合】

カーバッテリーは通常の電圧範囲内にあります。本体はスタンバイモードになっています。接続して 60 秒以内にエンジンを始動してください。

【ジャンプスタートケーブルの LED ライトが赤くなり、警告ブザーが鳴った時】

警告音が鳴った時はバッテリーの逆接続を示しています。ただちに切断し、車両とケーブルをすぐに接続し直してください。

9. 車両のエンジンを始動してみます（エンジンキーを回します）。
10. 車両が始動したら、成功です。
11. マイナス（黒 -）コレットを外します。プラス（赤 +）のコレットを外します。
12. ジャンプスタートケーブルを本体から外します。

⚠ 注 意

- ・車両が 6 秒以内に始動しない場合は、すぐに再始動しないでください。デバイスを 3 分間冷却して約 3 分後にもう一度やり直してください。
- ・不意なライトの点灯で目がくらむ恐れがあります。本体の電源スイッチに手がかからないようにご注意ください。
- ・非常に寒い天候の車両は最初の起動試行で始動できない場合があります。繰り返すことをお勧めします。車のバッテリーを温め、始動の可能性を高めるため、2 回目と 3 回目の試行で始動する可能性が高くなります。ただし 4 回目の試行が失敗した後は、車両の始動を一旦中断してください。デバイスの電力が不足しています。

お手入れと保管

注 意

- 1, この製品は水洗いできません。
- 2, 塩害に晒されないよう、潮風の当たるところや海辺、砂浜での長期保管、長期使用はお避けください。
- 3, 高温あるいは多湿になる車内やトランクでの保管はお避けください。
- 4, 洗浄に強力な洗浄剤、溶剤、化学薬品を使用しないでください。プラスチック部品に恒久的な損傷が発生する可能性があります。

お手入れ

- ・ 使用後は湿らせた布、スポンジ、またはブラシを使用して、泥や砂がついた場合は必ず完全におとして製品を清潔に保ってください。
- ・ オイルやグリースがついたらすぐに拭き取ってください。(特にグリップ部)。汚れがひどい場合は、石鹼水で湿らせた布を固く絞り、製品を拭いてください。

保管

- ・ 機械は子供の手の届かないところに保管してください。
- ・ 直射日光の当たる場所に長期間保管しないでください。
- ・ 安全上の理由から、摩耗または損傷した部品は交換する必要があります。
- ・ 元のパッケージ(可能な場合)で、清潔で乾燥した風通しの良い日の当たらない場所で保管してください。
- ・ ポート保護カバーをかけた状態で保管してください。接続ポートにホコリが溜まったり、金属があたったりするとショートする恐れがあります。
- ・ 湿気がこもらないように専用の収納ケースにしまってください。
- ・ プラスチック製のシートやビニールをカバーとして使用しないでください。通気性のないカバーで機械周辺の湿気が籠ることにより、錆や腐食が促進されます。
- ・ 理想的な保管温度は5～30℃です。
- ・ この製品はリチウムイオンバッテリー内蔵製品です。廃棄する際はお住まいの自治体の指定する法令に従い、正しく処理してください。

故障・修理：

リチウムバッテリー製品は有害物質を含みます。自分で分解、改造したり、修理したり、しないでください。

絶対に一般家庭ゴミとして廃棄しないでください。特に火・水に晒されると重大な事故につながる恐れがあります。

故障したり、不具合のある場合には直ちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または弊社にお申しつけください。

